



アートでつくりだす
人と人がつながる未来

profile 昭和49年12月18日
生まれ。旧虻田町出身。札幌
市立大学デザイン学部講師。
工房レオ代表等。51 歳。

砂浜の貝殻、きれいな形の石、どんぐり。幼い頃、夢中で拾い集めた自然のかからは彫刻家としての原点になりました。「楽しいことを演出するのは大人の仕事です。先の未来を少しでもつくっていければ」。小さなまちで感じた大きな自然の肌ざわり。その記憶を今も宿す手で、楽しさを分け合える場所をつくり出しています。

東奔西走

スポットライトで取材した藤沢レオさんは地域コミュニティの活動にも積極的に参加しているそう。アートの話題から、小さなまちで育った経験からくるまちづくりの価値観を語っていただきとても勉強になりました。(D.Y)
今年の夏は非常に過ごしやすかったと思います。最近は朝晩の風も涼しくなり秋の訪れを少しずつ感じています。皆さんは、北海道の短い夏を楽しめたでしょうか？まだ暑い日もありますが、体調管理に気をつけましょう！(M.O)

Spotlight

スポットライト

彫刻家・金属工芸家

藤沢 レオさん

今 夏、ワークショップが開かれた洞爺湖芸術館。テーマは土偶作り。会場には、社会人から親子連れまで柔らかな口調で作り方を教える藤沢さんの姿がありました。考え過ぎず思いつくまま粘土をこねるよう指導しながら「6千年前の技術者の思いを受け取れるはずですよ」と呼び掛けました。

20代で独立し、芸術家としての歩みを続けています。肩書は彫刻家、金属工芸家、大

学講師にして現役の学生と多岐に渡り、ワークショップの講師にしても「頼まれればどこにでも行きたいですね」と行動を惜しみません。「みんなが楽しんでいることが未来の希望」と語り、その一端を担えるのがアーティストだと考えています。

町公式LINEを友だち追加！

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます！

